

令和6年度 第5回 小金井市立緑小学校 学校運営連絡会

令和7年2月19日（水） 10:00～11:30 地域交流室

○出席 村井委員 太田委員 駒野委員 藤木委員  
後藤律子委員 八木委員 吉田委員 校長 副校長  
11名中9名出席 委員の過半数の出席により本会は成立

○傍聴者 なし

1 会長挨拶

(欠席)

2 校長挨拶

今年度、最後のCS委員会です。よろしくお願いいたします。

緑小の感染状況

不登校児童への対応として、週1回、緑センターを利用して親子で集まれる場を設けています。

不登校児童への給食提供を始めたところです。

来年度、学級数が1減、24学級になります。

3 協議

(1) 学校予算の執行について

○学校管理備品及び教育振興備品の執行状況は資料のとおり。

○古い物の更新ができない状況である。

(2) 学校関係者評価最終評価について

○前回のCS委員会での話し合いを基に、最終報告書としてまとめた。

○この最終報告書を教育委員会に提出する。

(3) 次年度の教育課程について

○令和7年度の教育課程の方向性は、主体性・多様性・創造力を軸にしている。

それに伴って、8つの重点項目がある。この重点項目に沿って、令和7年度の教育課程を作成した。

○昨年度と変わったのは、「デジタル・シティズンシップ教育の推進」「特別支援教育の組織的な支援体制の充実」である。

○第1表について

来年度も重点目標を「たすけあう子ども」とし、子供たち同士の関わり合いを大切にしてい

きたいと考えている。

授業力向上の観点から、「問い」の発見や解決に挑む授業の実践や「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実践を充実させていきたい。

コミュニティ・スクールとして、地域学校協働本部との連携を図っていく。

○第2表について

デジタル・シティズンシップ教育を推進し、デジタル社会をよりよく生きる力の育成を図っていく。

特別支援教育の実践にあたり、子供の困り感に応じた合理的配慮の提供、組織的な支援体制の充実を図っていく。

不登校対策の取組の充実を図るため、不登校児童の特性を的確に把握して個に応じた不登校支援をしていく。

- ・緑小の特別支援教育はどのようなになっているのか。
- ・緑小には、大空教室（特別支援教室）があり、週3日実施している。

(4) 次年度の学校経営方針について

○教育課程の方向性を受けて改訂している。

○目指す教師像において、不登校の未然防止として安心して発言、相談できるよう子供に公平・公正な態度で接することを重視していく。

○子供同士、教職員間のコミュニケーションを大切にしていきたい。

○教育目標の具現化において、特に集団活動を通して、規範意識や協力する態度の育成を図っていく。

○来年度も引き続き、コミュニティスクールとしてCS委員会と連携しながら教育活動を行っていく。

#### 4 情報交換

○登校の見守りで声をかけると、声を返してくれることが多くなった。

○地域見守り安全連絡会に緑中の生徒会が参加してくれた。

○地域の長生会の方の協力により、昔遊び集会を実施した。

○パラリンピック車椅子バスケの選手等を招いて、4年生対象に出前授業をした。

○ほうかご遊びは、1日約150人の利用があった。

○来年度は、防犯と防災の会を実施していきたい。

○昨年の9月からエデュケーションアシスタントが2名、緑小に配置された。